

3. 地方からの便り

総合防災訓練の実施

和歌山県 有田消防組合消防本部



当消防本部では、「防災の日」を前にした8月31日（日）に、吉備町・金屋町・清水町と合同で、防災関係機関31団体、地域住民1,000人以上が参加して、総合防災訓練を実施しました。

この訓練は、500人以上の死者・行方不明者を出した有田川水害から50年が経過したことにちなんだもので、今回の訓練想定は、紀伊半島沖を震源とする震度7の強い地震のため、有田地方で家屋の倒壊や火災が相次いで発生、一方有田川上流の山崩れで天然ダムが出来、大水害の恐れが

あると云う想定で始まりました。

3町内で集団避難訓練が始まり、有田川河川敷では、婦人防火クラブ員による初期消火訓練をはじめ、水防工法訓練、河川や建物に取り残された人の救助訓練などには、ヘリコプター4機が参加、本番さながらの緊張感の中、参加者はみな真剣に取り組んでおりました。



[▲ このページの上に戻る](#)

第17回幼年消防クラブのつどい

京都府 乙訓消防組合消防本部



長岡京市幼少年婦人防火委員会と乙訓消防組合長岡京消防署では、7月10日（木）京都府長岡京記念文化会館において、市内幼年消防クラブ員が一同に会する、「長岡京市幼年消防のつどい」を開催いたしました。

同クラブでは、幼児期に火の怖さと、防火の大切さを知ってもらう目的で、市内3幼稚園でクラブを結成しております。

「幼年消防クラブのつどい」は、毎年開催しており、今年は、クラブ員とその保護者」、市内保育所の子供たち、

市内婦人防火クラブ員計1,000人が参加して行われました。

クラブ員たちは全員お揃いの法被を着て「子供の世界」など2曲を振り付きで合唱をいたしました。

最後にみんなで元気に「ぼくたち わたしたちは ぜったいに火あそびはしません」と大きな声で誓い合いました。

幼少年婦人防火委員会では、火あそび火災を無くすために幼児期から防火教育が有効であり、これからも、続けていくことを再確認いたしました。



[▲ このページの上に戻る](#)

第14回泉佐野市総合防災訓練実施

大阪府 泉佐野市消防本部

8月28日（木）9時55分から12時まで泉佐野市立佐野中学校において、第14回泉佐野市総合防災訓練が実施されました。

9時59分新田谷泉佐野市長の開会宣言の後、10時00分に、和歌山県北部（根来～葛城東断層）を震源地とするマグニチュード7.3の地震が発生し、震度6強の大規模地震に襲われ、家屋の倒壊、道路、通信、電力、ガス、水道などの施設に大きな被害が発生し、河川谷ため池の堤防に亀裂が生じ、決壊の恐れがある。さらに数箇所建物火災が発生し、倒壊家屋による負傷者も多数出たとの想定で訓練を行いました。



この訓練は、9月1日の「防災の日」に先がけて、防災機関との緊密な連携と相互協力のもとに、迅速かつ的確な消防活動を実施するとともに、市民の防災意識の高揚を目的とし、町会等35団体、約700名の方が参加されました。また、訓練会場以外のところでも、泉佐野市火災予防協会の約300事業所が自主的に初期消火訓練や避難訓練を同時に実施し、泉佐野市は「防災の1日」となりました。

当防災訓練は、市内を5つの中学校に区分して、毎年輪番で実施し、各中学校区の町会参加を基本として、今

年で14回を数えることとなりましたが、東海地震、東南海・南海地震が今後30年間に40～50%の確率で発生すると云われていることから、防災関係機関及び住民の方の真剣さが伝わってきた1日でありました。

>

[▲ このページの上に戻る](#)

「少年消防クラブ火の用心キャンペーン」

長崎県 佐世保市消防局

佐世保市少年クラブ連絡協議会（佐世保市消防局）では、8月7日（木）、市内随一の繁華街である佐世保三ヶ町アーケード・させぼ4ヶ町アーケード等において「少年消防クラブ火の用心キャンペーン」を挙げて行いました。

このアーケード街は、国内においては最も長いことで知られており、佐世保市民の買い物などの中心地です。

この日は、11クラブからクラブ員、指導者（保護者）合計235名が参加し、キャンペーン隊の横断幕と光の子少年消防クラブのマーチングバンドを先頭に約1 Kmにわたって「花火はルールを守って」、「火あそび絶対禁止」等の防火の呼びかけをしながら、堂々のパレードを行いました。

当日は、天気にも恵まれ、ドリル演奏を披露した島瀬公園や両アーケード街では、「少年消防クラブ火の用心キャンペーン」隊の行進を一目見ようと大勢の見物客で賑わいました。

閉会式では、少年消防クラブ連絡協議会会長が、これからも花火をするときなどはルールを守って行うようクラブ員自らが自覚を持とうと締めくくり、キャンペーンを修了いたしました。

>



[▲ このページの上に戻る](#)

少年消防クラブ員研修会を開催

島根県 雲南消防本部



7月29日(火)から3日間、雲南消防本部管内の少年クラブ員研修会を3会場で開催し、29クラブから4年生以上239名の参加があり、消防への理解と関心を深めるとともに、火の大切さ、怖さを学びました。

この研修会は、雲南少年婦人防火委員会が毎年行っており、今年が16回目。各会場とも初めに参加者の代表が「家庭や学校で火の用心に務めます」と誓いの言葉を述べた後、研修に入り、各班に分かれ職員を指導者に班長を中心として、まず米をといだり野菜を切るなど昼食のカレーライス作

りの準備をした後、起震車による地震や煙を充満させたテント内での煙体験をしました。

また救急法研修の中では、少年期から体のしくみや命の大切さを知るため心肺蘇生法の実技指導も受けました。更に各会場独自で初期消火を想定してのバケツリレーによる風船割りや水消火器でペットボトルを倒すリレー、また消防車からホースを延長してフォグガンで放水的を倒すなど、集団行動を通じて力を合わせる大切さや協調性を養い、クラブ間の親睦を深めることができました。

>



[▲ このページの上に戻る](#)

楽しく学ぼう！ (消防学校一日入校)

栃木県 宇都宮市消防本部



宇都宮市消防本部では、去る8月1日(金)に栃木県消防学校において消防学校一日入校を実施しました。当日は、婦人防火クラブ員300名、少年消防クラブ員50名、幼年消防クラブ指導者20名あわせて約400人の参加者が防火・防災に関する必要な知識・技術を学びました。

研修は、消火訓練、救急隊指導による応急手当、通報訓練などの諸行動体験、隣接している栃木県防災館の体験、そして最後に非常食を全員で味わいました。特に今年から新設し

たバケツリレーコーナーでは、各クラブ員の合同チームでタイムを競い優勝めざして全員が防災訓練時にも増して真剣に取り組んでいたのが印象的でした。

この催しは、当市の目指す『安全で安心な街づくり』のために、楽しみながら防災意識の高揚と、防災行動力の向上を図るとともに、各防火団体との交流も図ることができる数少ない機会ですので、今後も趣向を凝らして実行する予定です。

